

徳島市での自転車利用に関する
市民アンケート調査
調査結果

平成 31 年 3 月

徳島市

目次

第1章	調査概要.....	1
1-1	調査の目的.....	1
1-2	調査の概要.....	1
1-3	回収結果.....	1
第2章	調査結果.....	2
2-1	あなたご自身のことについて.....	2
2-2	自転車の交通ルールについて.....	5
2-3	普段自転車で通行するときの通行位置について.....	7
2-4	自転車に関連した交通事故の経験などについて.....	11
2-5	その他自転車の利用について.....	17

第 1 章 調査概要

1-1 調査の目的

（仮称）徳島市自転車安全利用促進計画を策定するにあたり、徳島市内における自転車利用実態などを把握するため、市民アンケート調査を実施しました。

1-2 調査の概要

調査の概要は、以下のとおりです。

調査手段	郵送によるアンケート方法
調査対象者	徳島市内在住の 13 歳以上の方
調査規模	1,500 人
調査期間	平成 30 年 10 月 1 日（月曜）～平成 30 年 10 月 19 日（金曜）
実施主体	徳島市

1-3 回収結果

配布数 1,500 件に対し、回収数は 556 件であり、回収率は 37.1%でした。

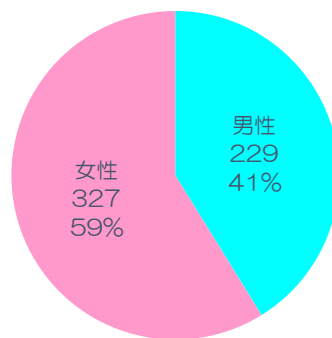
第2章 調査結果

2-1 あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。

回答者を男女別で見ると、男性が41%、女性が59%となっています。

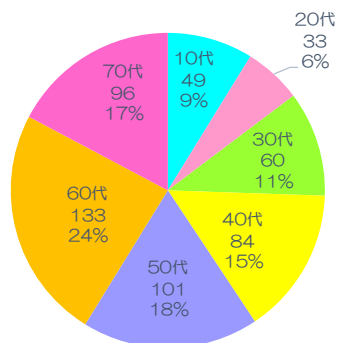
問1. 性別 (N=556)



問2 あなたの年齢はおいくつですか。

回答者を年代別で見ると、60代が最も多く24%、次いで50代が18%となっています。

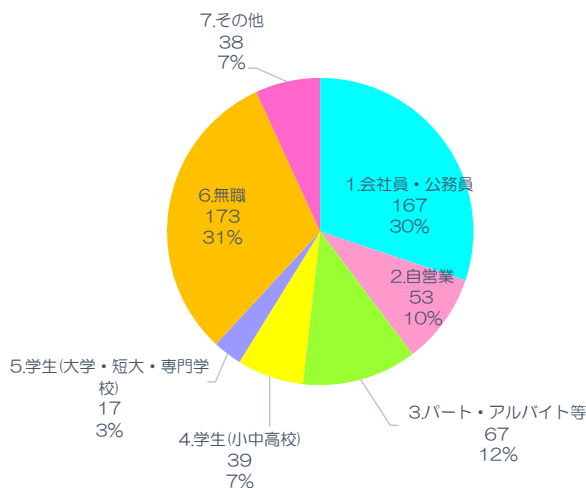
問2. 年齢 (N=556)



問3 あなたの職業を教えてください。

回答者を職業別に見ると、無職が最も多く31%、次いで会社員・公務員が30%となっています。

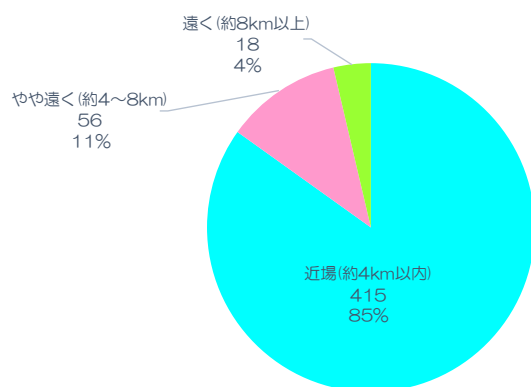
問3. 職業 (N=554)



問4 普段、自転車を利用する距離を教えてください。(複数回答あり)

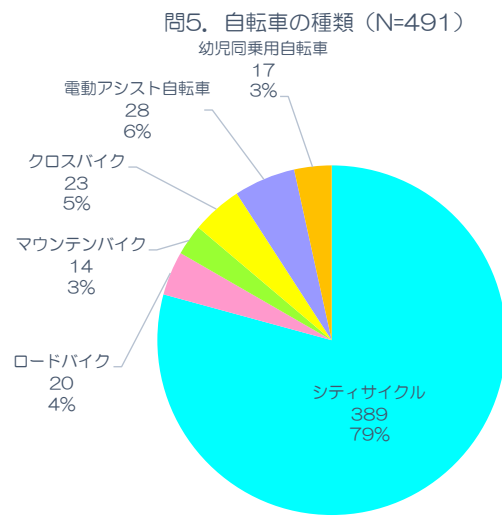
回答者を自転車利用距離別で見ると、約4km以内の近場への利用が最も多く85%で、一般的に多いとされる利用距離と同様の結果となっています。

問4. 自転車を利用する距離 (N=489)



問5 普段、利用する自転車の種類を教えてください。

回答者を利用自転車種別で見ると、シティサイクルが最も多く 79%となっています。

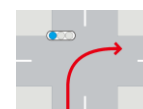


2-2 自転車の交通ルールについて

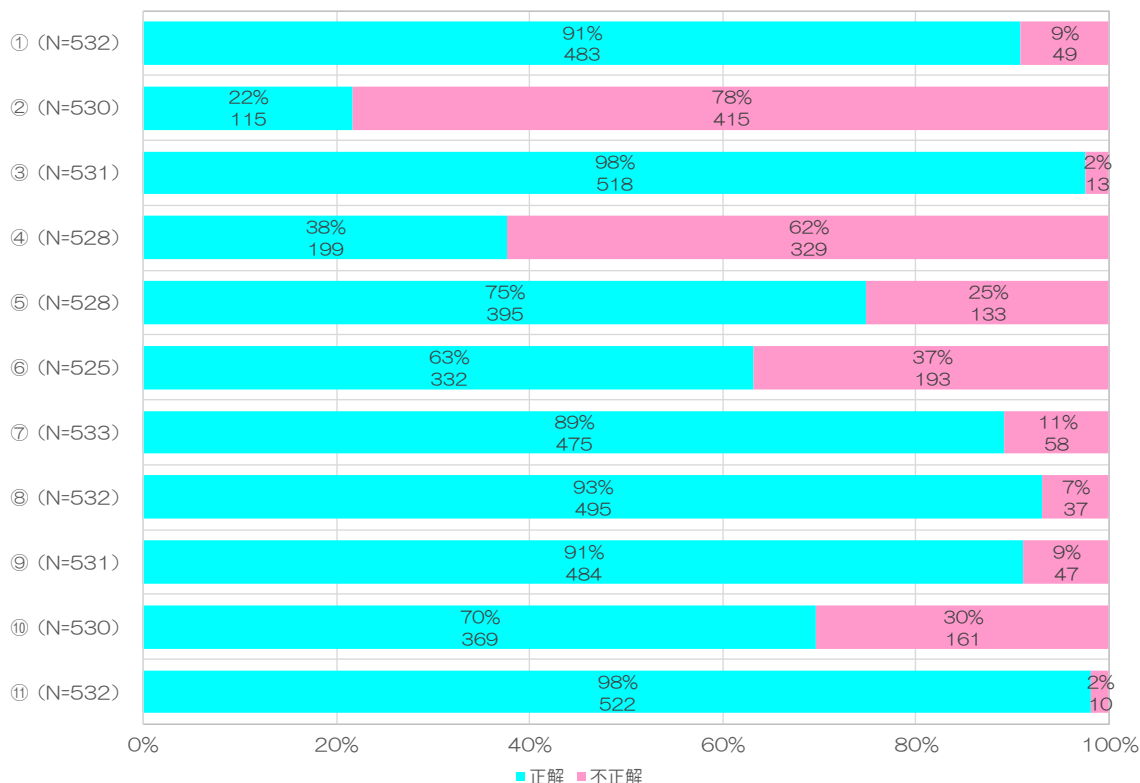
問6 交通ルール上、正しいと思うものには○を、間違っていると思うものには×を選択してください。

正答率で見ると、自転車の車道左側通行が原則であるという交通ルールに関する設問(①、③)については、それぞれ90%以上と高い正答率となっています。しかし、設問②(22%)や設問④(38%)では、低い正答率となっています。

	質 問	正解
①	歩道と車道の区別があるところでは、自転車は車道通行が原則である。	○
②	歩道のない道路では、自転車は路側帯を通行することが原則である。	×
③	自転車が車道を通行するときは、車道の左端通行が原則である。	○
④	普通自転車歩道通行可の標識(右図)がある道では、自転車は歩道を通行しなければならない。	×
⑤	普通自転車歩道通行可の標識(右図)がある歩道を自転車で通行する際は、歩行者に気をつけていれば、どこを通行してもよい。	×
⑥	自転車は車道通行が原則ではあるが、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者等については、歩道を通行することができる。	○
⑦	自転車で歩道を通行する際には、歩行者がいなければ自分が安全と思う速度まで出してもよい。	×
⑧	信号のある交差点を自転車で右折しようとする場合、右図のように進行しなければならない。	×
⑨	自転車で横断歩道を通行する際に横断中の歩行者の通行を妨げる可能性がある場合は、自転車に乗ったまま通行してはいけない。	○
⑩	止まれるの標識(右図)のある交差点では、自動車は一時停止、自転車は徐行して通行しなければならない。	×
⑪	酒気を帯びて自転車を運転してはいけない。	○



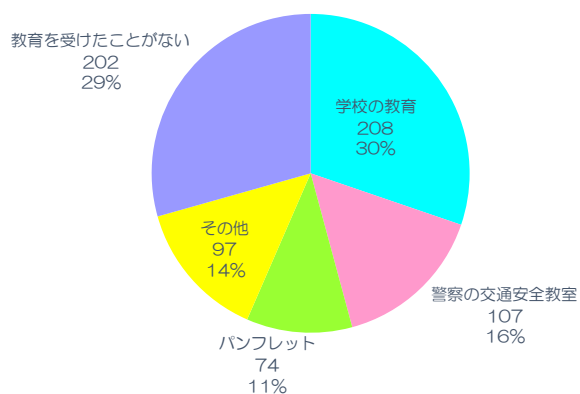
問6. 自転車の交通ルールについて



問7 自転車のルールはどこで知りましたか。（複数回答可）

自転車の交通ルールを学んだ場所の種別で見ると、学校の教育が最も多く30%、次いで教育を受けたことがないが29%となっています。また、その他では、テレビ番組や自動車運転免許等の更新時などがありました。

問7. 自転車交通ルールを学んだ場所（N=688）



2-3 普段自転車で通行するときの通行位置について

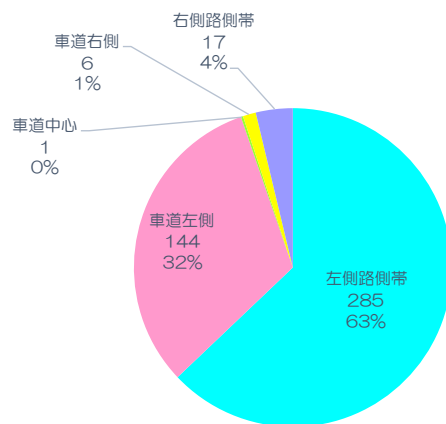
問8 以下の写真を見て、質問（1）、質問（2）のうち、当てはまる番号にそれぞれ○を付けてください。（複数回答可）

■ 歩道のない道路（箇所A）について

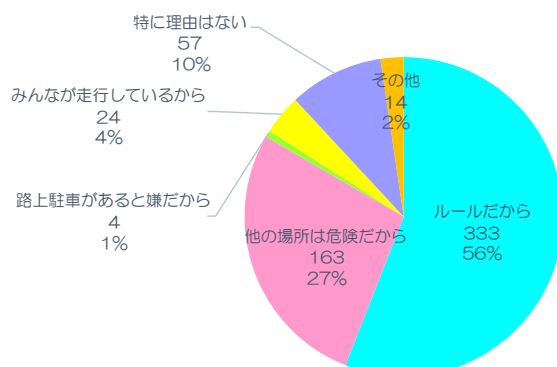
左側通行という点で見ると、左側路側帯と車道左側の計95%となっており、自転車の左側通行については正しく認識されています。



問8（1）【箇所A】. 自転車の通行位置（N=453）



問8（2）【箇所A】. 自転車の通行位置選定理由（N=595）

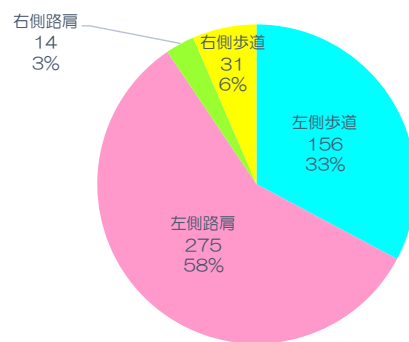


■ 歩道があり普通自転車歩道通行可の標識がない道路（箇所B）について

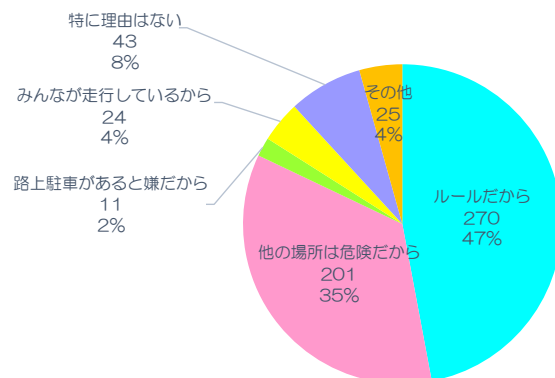
自転車左側通行と自転車車道通行という点で見ると、左側路肩が58%となっており、ある程度正しく認識されています。



問8（1）【箇所B】．自転車の通行位置（N=476）



問8（2）【箇所B】．自転車の通行位置選定理由（N=574）

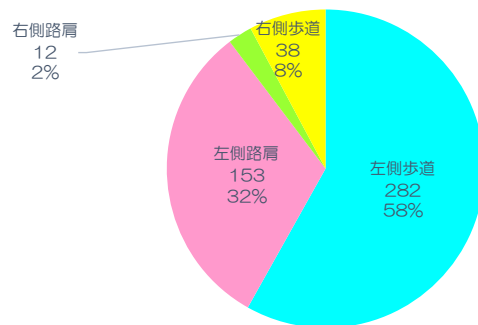


■ 歩道があり普通自転車歩道通行可の標識がある道路（箇所C）について

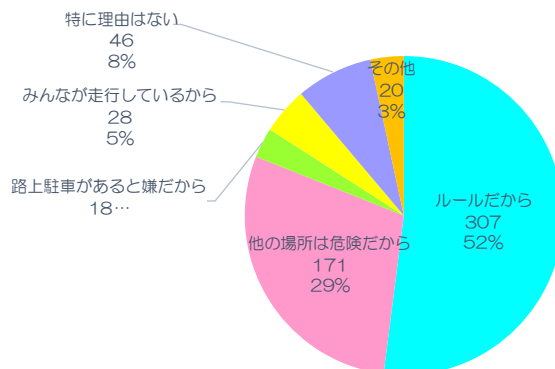
左側歩道と右側歩道を合わせた計 66%が歩道を通行しており、普通自転車歩道通行可の標識が設置された場合には、左側だけに着目しても路肩（32%）より歩道（58%）を通行する人が多くなっています。



問8（1）【箇所C】．自転車の通行位置（N=485）



問8（2）【箇所C】．自転車の通行位置選定理由（N=590）

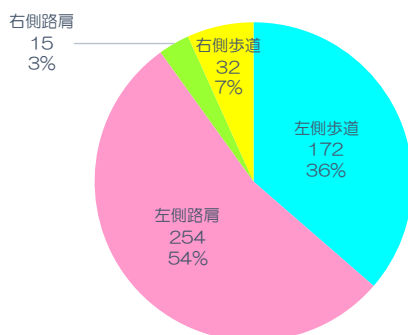


■ 歩道があり自転車通行空間が示された道路（箇所D）について

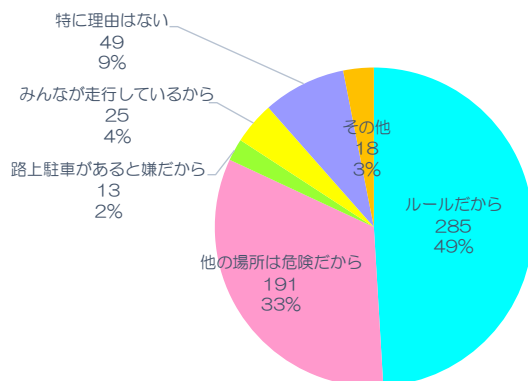
箇所Bと比較して自転車通行空間を明示した場合の変化について見てみると、左側路肩を選択した人が箇所Bの58%に対し、箇所Dでは54%と少し低くなっており、自転車通行空間の路面標示が正しく認識されていません。



問8（1）【箇所D】. 自転車の通行位置（N=473）



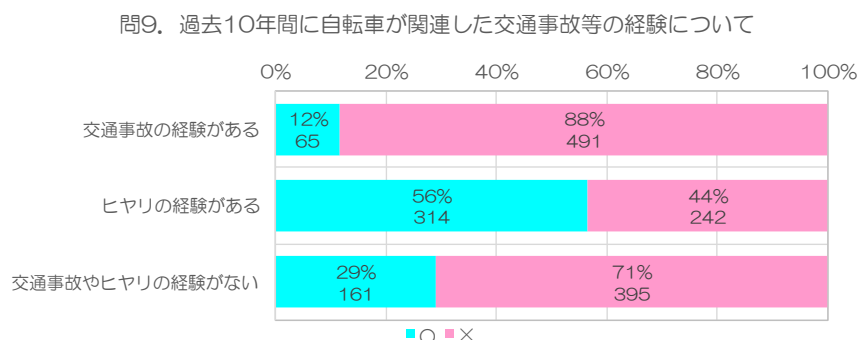
問8（2）【箇所D】. 自転車の通行位置選定理由（N=581）



2-4 自転車に関連した交通事故の経験などについて

問9 過去10年間に自転車に関連した交通事故もしくは危険だと感じた経験（ヒヤリの経験）がありますか。（複数回答可）

過去10年間で自転車に関連した交通事故の経験があると回答した人は12%と少ないものの、ヒヤリの経験がある人は56%となっています。



問10 問9で「1. 自転車に関連した交通事故の経験がある」と答えられた方にお聞きします。その時の状況を教えてください。

相手の移動手段別で見ると、自動車（51%）や自転車（38%）が多くなっています。

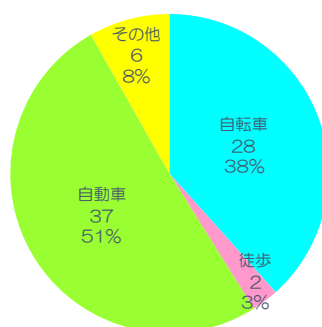
相手の年齢別で見ると、19～59歳が最も多く59%となっています。

発生場所別で見ると、歩道上（28%）や交差点（26%）が多くなっています。

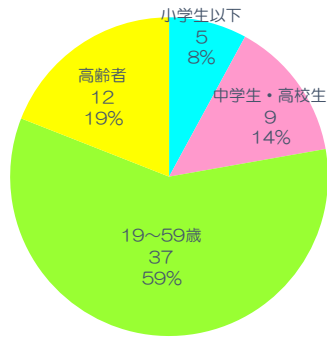
発生状況別で見ると、出会い頭（29%）や相手の右左折時（25%）が多くなっています。

警察への届出の有無で見ると、届出されたのが60%と多くなっています。

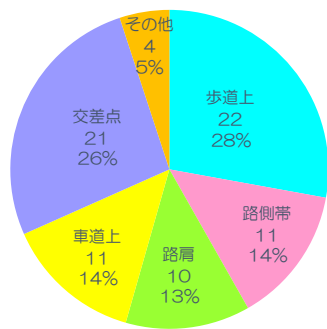
問10-①-1. 相手の移動手段 (N=73)



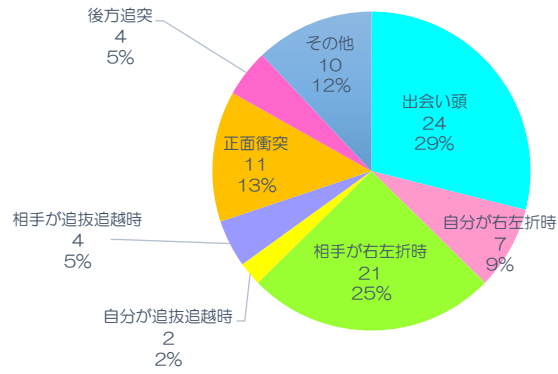
問10-①-2. 相手の年齢 (N=63)



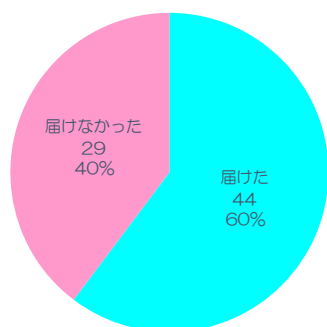
問10-②. 場所 (N=79)



問10-③. 状況 (N=83)



問10-④. 警察への届出 (N=73)



問11 問9で「2. 自転車に関連したヒヤリの経験がある」と答えられた方にお聞きします。その時の状況を教えてください。

相手の移動手段別で見ると、自転車（49%）や自動車（43%）が多くなっています。

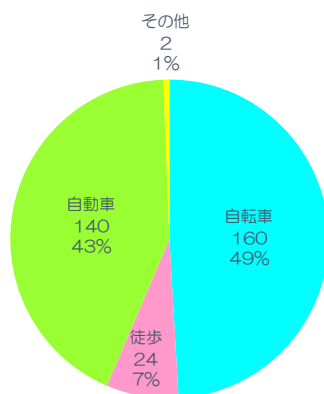
相手の年齢別で見ると、19～59歳（39%）や中学生・高校生（36%）が多くなっています。

発生場所別で見ると、歩道上（26%）や交差点（25%）、路側帯（22%）で多くなっています。

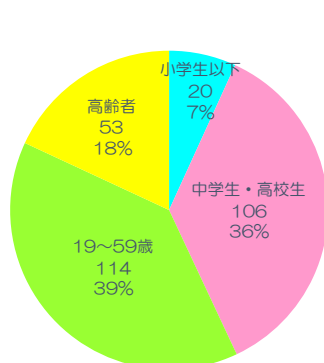
発生状況別で見ると、出会い頭が最も多く 36%、次いで相手の右左折時や追抜追越時が16%となっています。

発生時間帯別で見ると、夕方が最も多く 37%、夜は10%と比較的少なくなっています。また、その他の意見として、相手の無灯火や信号無視などがありました。

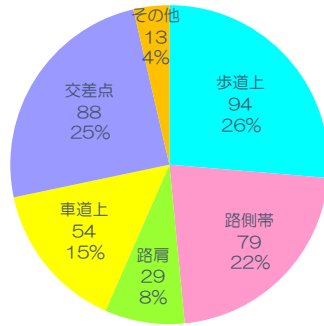
問11-①-1. 相手の移動手段 (N=326)



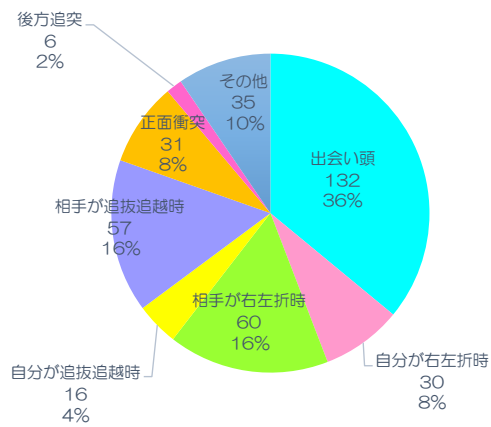
問11-①-2. 相手の年齢 (N=293)



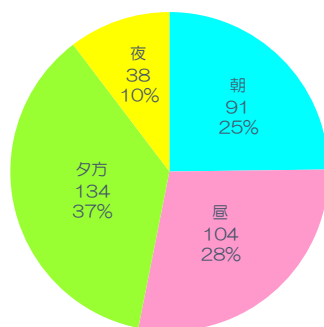
問11-②. 場所 (N=357)



問11-③. 状況 (N=367)



問11-④. 時間帯 (N=367)



問12 徒歩で移動中に自転車に関連したヒヤリの経験がありますか。その時の状況を教えてください。

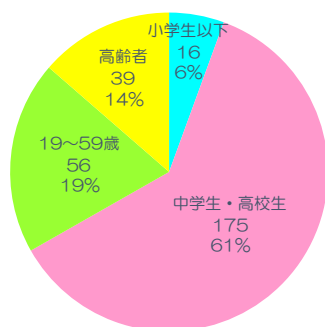
相手の年齢別で見ると、中学生・高校生が最も多く61%となっています。

発生場所別で見ると、歩道上（56%）や路側帯（22%）で多くなっています。

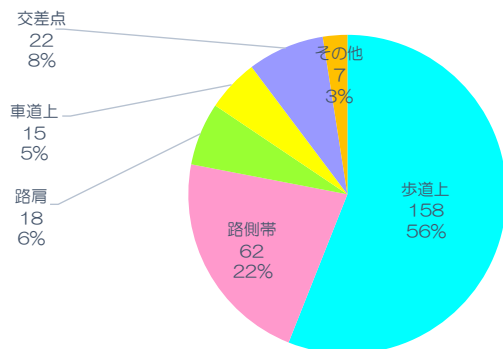
発生状況別で見ると、相手の追抜追越時（33%）や出会い頭（28%）が多くなっています。

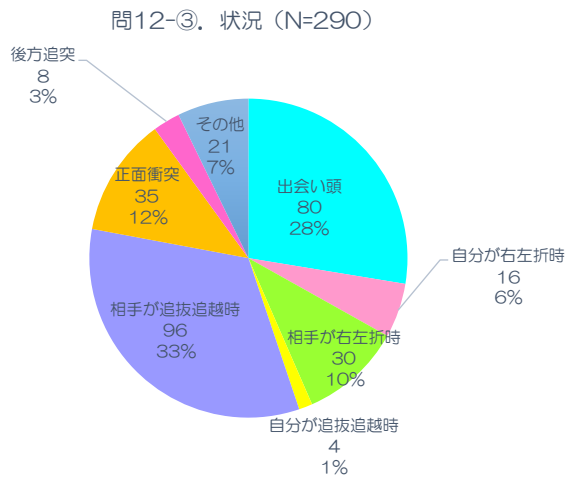
発生時間帯別で見ると、夕方が最も多く40%、夜は9%と比較的少なくなっています。

問12-①. 相手の年齢 (N=286)

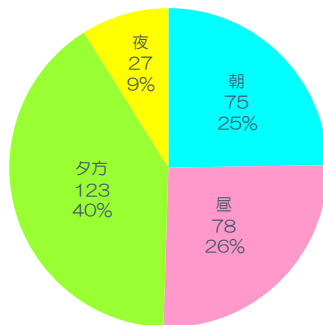


問12-②. 場所 (N=282)





問12-④. 時間帯 (N=303)

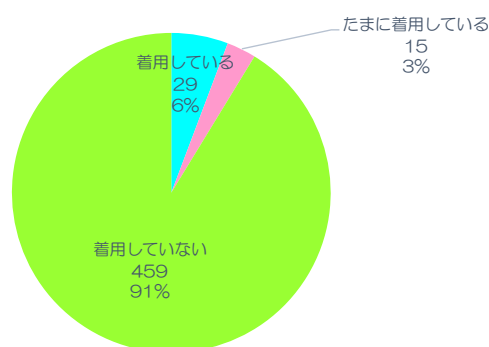


2-5 その他自転車の利用について

問13 ヘルメットを普段から着用していますか。

自転車乗車時のヘルメット着用については、普段から着用していない人が特に多く91%となっています。

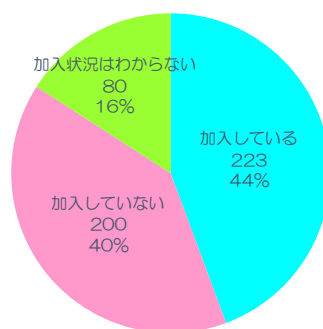
問13. ヘルメットの着用 (N=503)



問14 自転車損害賠償保険に加入していますか。

自転車損害賠償保険の加入については、加入している人が44%と最も多くなっています。

問14. 自転車損害賠償保険への加入 (N=503)



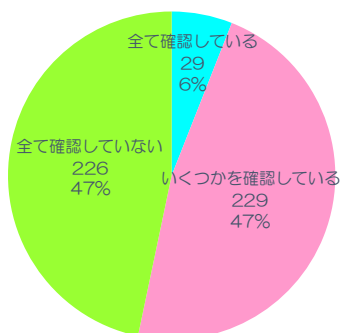
問15 自転車を購入する際、以下の表にあるマークについて確認していますか。「2. いくつかのマークを確認している」と答えられた方は、確認しているマークに○をお書きください。

自転車購入時のマーク確認については、いずれかのマークを確認している人と確認していない人がほぼ同数の47%ですが、全て確認している人(6%)を含めると、自転車購入時にマーク確認を行っている人の方がやや多くなっています。

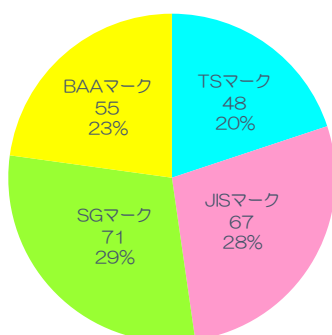
また、よく確認されているマークの種別については、SGマーク(29%)とJISマーク(28%)がやや多くなっています。

マーク名称	BAA マーク	SG マーク	JIS マーク	TS マーク
マーク貼付時期	メーカー出荷時	メーカー出荷時	メーカー出荷時	自転車安全整備店での点検時
マーク交付団体	一般社団法人自転車協会	一般社団法人製品安全協会	工業標準化法によるJIS 認証取得者	公益財団法人日本交通管理技術協会
マーク図				

問15. 自転車購入時のマーク確認 (N=484)



問15. 確認しているマークの種類 (N=241)



問16 1年に1回以上、自転車の点検をしていますか。

1年に1回以上の自転車点検については、点検している人が36%、していない人が64%となっています。

問16. 1年に1回以上の自転車点検 (N=502)

